

KSKR



2019・4

はる
春 122号

「近況報告」

稲本須磨子

拓人こうべの近況を一言で言い表すと

「多くの人に助けられながら存在しています。」がぴったりです。

ホームページを中心として行っている情報発信は、入ってきた情報を可能な限り早くコンピューターの相談役に送信、更新作業を円滑に行ってもらっています。

事業所交流会は事務局としてのほんの少しの事務作業は行っているものの、交流会の運営は各事業所の方々が動いてくださり開催できています。

この通信の編集作業は強力な援軍が現れ、かたちになっています。

印刷は長年のお付き合い・ご近所の事業所さんに印刷機を借りて無事に通信を印刷することができています。

そして、これまで活動ができているのは多くの方々のご支援があつてこそです。

本当にありがとうございます。

法人運営に関しては自力でしなくてはならないことで、手を借りようがありません。滞っていることが多すぎて今日もできなかった、明日はきっと…とが延々と続いている毎日です。

事務作業が追い付かず、この失礼を深くお詫びいたします。

今年度もあと数日で終わろうとしています。取り残しの事をひとつひとつ丁寧に終わらせていき、これからも「助けていただけるよう」に努めていきます。

やらなければならないこと、拓人こうべの目的は「障害者の権利実現」です。力を借りながらも目的達成への道を進みます。

ここまで書いて、自分の事ばかり…。1995年1月17日以降多くの災害が起こり、多くの支援活動が続いている現実を、何もできずにただ、ただ、日々追われ…。

全国のみんなを支えるひとつに成りえるように、恩返しができるように…。

2019年3月末記

目次

- P 2 第16回事業所交流会の案内 / P 3 第15回事業所交流会の報告
- P 4 もとまちハートミュージアム2019の案内 ・ カンパのお願い